

◆事業名：学習支援ボランティア事業（低所得世帯の子どものための学習サポート事業）

◆宮城県仙台市（子供未来局子供育成部子育て支援課）

◆キーワード：『eラーニング』

◆事業ポイント

○eラーニングを積極的に活用し学習効果の向上とボランティア参加拡大を実践

○生活保護世帯向けの学習支援事業との共催により効果的な学習支援を実現

◆事業の概要（実績データは平成27年1月現在）

項目	内容
①世帯数・面積	492,061世帯（H27年3月1日現在）、785.8km ²
②児童扶養手当受給者数	8,755人（H27年1月22日現在）児童扶養手当第61表報告書
③開始時期	平成25年7月
④対象年齢	中学生
⑤事業対象の要件等	生活保護受給者、児童扶養手当全部支給区分受給者
⑥実施体制	委託（NPO法人アスイク）
⑦スタッフ	事業統括1人、学習支援コーディネーター2人、サブコーディネーター（各教室1～2人）
⑧事業形態	教室方式
⑨事業内容	生活保護世帯向けの事業との共同実施（平成25年度、26年度はモデル事業）
⑩実施場所	教室10か所
⑪実施頻度	各教室週2～3回実施（2時間30分～4時間程度）
⑫ボランティア登録数	74人（学生：30人、教員OB：2人、社会人：20人、その他22人）
⑬児童数	162人（中学生のみ）
⑭事業費（H26年度）	26,038千円

◆事業経緯

当市では、平成25年度に、1区5か所で事業を開始し、平成26年度は、2区の10か所に拡大している。

◆具体的な事業内容

当市における学習サポート事業は、「学習支援」、「子どもの居場所」、「体験講座」、「保護者相談」を事業の柱としている。

「学習支援」では、eラーニングを活用した支援により効果的な学習支援を実現している。

「子どもの居場所」では、学習支援だけでなく、居心地の良い雰囲気作りを行っている。

「体験講座」では、民間企業や市民ボランティアと協働し、キャリア教育を含む多様な課外プログラムを開催している。

「保護者相談」では、保護者に対して、継続的な

相談支援を実施し、状況に応じて他の専門機関への紹介を行っている。

[事業対象者]

事業対象は、生活保護受給世帯及び児童扶養手当全部支給区分受給世帯の中学生とその保護者である。

[教室方式]

学習の場であるだけでなく、子どもたちの居場所作りとしての目的もあるため、教室方式を採用している。

教室は、5つの行政区のうち、2区に5か所ずつ、計10か所に開設している。

教室の多くは、受託者の提携先の団体の施設を無料・固定で利用できているのが特徴である。

[教室風景]



出典：NPO 法人アスイク

[学習科目]

英語、数学、国語を中心に、本人の意向に応じて社会、理科も実施している。

[利用料]

利用料は徴収していない。

[ボランティアへの謝金]

ボランティアへの謝金は、受託者において、交通費の実費精算とし、月締めで翌月に支払っている。

[おやつ・食事]

教室によって多少異なるが、簡単なおやつを出している。菓子等は、フードバンクからの提供で、おやつ代は徴収していない。

[フードバンクとの提携]

受託者は、みやぎ生協フードバンクと提携しており、困窮度の高い家庭に食糧を提供している。

◆支援内容

[学習指導]

eラーニングを活用し、効率的・効果的に基礎学力の向上をサポートしている。

また、宿題のサポートなどはボランティアが個別に実施するなど、それぞれの状況・ニーズに沿った支援を実施している。

当市の特徴は、受託者において、ベンチャー企業（株式会社すららネット）と提携してeラーニングシステムを低料金で活用している点である。

具体的な学習内容は、内蔵されているテスト機能を活用し、参加者の学力面でのアセスメントを行い、明確になった苦手分野について、レクチャー機能を活用して克服するものである。

これによって、ボランティアによる学習支援の質のバラつきを抑えると同時に、ボランティア不足への対応策にもなっている。

[ボランティアと生徒の比率]

ボランティアと子どもの比率は、概ね1：7となっている。

eラーニングには、個人個人が集中して取り組めるため、基礎学習の面では問題がないが、宿題や個別学習の支援、様々な相談などに対応するため、ボランティアを増やしていく必要がある。

[進路相談]

サブコーディネーター、もしくはコーディネーターが定期的に子どもとの面談を実施している。

進学に向けた意欲が少ない子どもなどもあるため、必要に応じて保護者を交え、進学について丁寧な相談を行うよう努めている。

[教材]

eラーニングを中心として、学校の教科書等も使用している。

◆事業実施体制

事業は、受託者において、以下のようなスタッフで運営している。

○事業統括：1名

事業企画、委託元・連携機関との調整、進捗管理、外部との渉外等

○学習支援コーディネーター：2名（各区1名）・常勤

担当エリアにおける、ボランティアコーディネーター、サブコーディネーター採用・育成、教室運営サポート、研修会の企画運営、課外プログラムの企画運営、保護者の相談支援・ソーシャルワーク、報告シート類作成等。

○サブコーディネーター：各教室 1～2 名
各教室の運営が主な業務であり、各教室において e ラーニングの目標確認や生徒からの相談、宿題の支援などを行っている。

○ボランティア：74 名
サブコーディネーターの補助である。ボランティアは、学習支援全般を行う、特定教科だけ教える、相談だけ行うなど、人によって活動内容は様々である。

市の担当課（ひとり親家庭支援：子育て支援課 生活保護：社会課）の役割は、参加対象者の募集であり、その他の事業運営は、受託者である NPO 法人アスイクが行っている。

また、市の担当課と受託者は、月 1 回、定例会を実施し、事業改善等について話し合うなど情報共有に努めている。

◆ボランティアの確保・養成

ボランティアの登録人数は 74 人、内訳は、学生 30 人、教員 OB2 人、社会人 20 人、その他（高校生、主婦、シニア等）22 人となっている。

学生のほか、社会人の参加も多い。また、本事業の参加者であった生徒が、高校進学後にボランティア登録をし、後輩の支援を行っているケースもある。

ボランティアの活動は、原則、週 1 回としている。

[ボランティアの募集]

ボランティアの募集は、受託者が、各大学のボランティアセンター、市民センター、社会福祉協議会のボランティアセンター等へのチラシ掲示、大学授業内での告知、ウェブサイトへの掲載、既存ボランティアからの紹介等により行っている。

[ボランティアの条件、登録手順]

当該事業では、子どもとの関係づくりが重要であるため、ボランティアは、最低 3 ヶ月以上継続できることを基本としている。

登録手順としては、コーディネーターが個別面談（1 時間程度）を必ず行った上で、規約を確認

し、登録用紙に記入してもらっている。

[協力団体等]

主な協力団体は以下の通り。

- ・一般社団法人パーソナルサポートセンター
- ・みやぎ生活協同組合
- ・東北学院大学経済学部共生社会経済学科
- ・仙台白百合女子大学人間学部グローバルスタディーズ学科
- ・東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科

◆参加者の募集

○児童扶養手当受給者：

支援対象者にダイレクトメールを送付

○生活保護受給者：

ケースワーカーが訪問時に紹介

また、申込みがあった場合、一旦、体験入学してもらい、保護者と子どもの意思の確認を行っている。

◆事業の実績

参加人数は、162 人で、内訳は、中学の 1 年生 46 人、2 年生 49 人、3 年生 70 人となっている。

[学習参加状況]

出席率は、全体平均で 75%程度である。

学習への参加については、出席率を生徒ごとにカウントしており、出席率が低下してきた生徒に対しては個別の面談を実施、状況によって保護者も含めた相談支援やソーシャルワークにつなぐなどして継続率、出席率を高めている。

◆事業立ち上げに関して

[委託先の選定]

公募型プロポーザル方式により、委託先を選定した。

[教室等場所の確保]

受託者は、提携している団体の施設の部屋を教室として無料・固定で活用できている。

生協の店舗がない地区では、福祉施設の貸しホールなどを低料金で借りている。

◆事業の効果

受託者は、学習支援の効果について、アンケートを実施し、詳細に分析している。

その分析レポートから、平成25年度の事業効果を以下に示す。

- ①高校進学率：30人（100%）が進学した。
- ②基礎学力：平均で英語が14.7点の増加、数学が9.2点の増加と基礎学力の向上効果があった。
- ③学習意欲：64%の保護者が、子どもの学習意欲が向上したと回答。
- ④自尊心：約6割の保護者が、子どもの自尊心が向上したと回答。
- ⑤ソーシャルスキル：53%の保護者が、子どもがいろいろな人とまよくやっけていけるようになったと回答。
- ⑥将来展望：約9割の参加者が、進学や将来の職業について前向きに考えるようになったと回答。
- ⑦保護者との関係性
約5割の参加者が、勉強や将来について親と会話する時間が増えたと回答。
67%の保護者が、子どもと勉強や将来のことについて会話する時間が増えたと回答。
- ⑧活動への満足度
参加者の9割以上が、この教室に参加してよかったと感じている。
85%の保護者が、子どもを参加させて良かったと回答している。
- ⑨サポートへの満足度
9割の参加者が、スタッフやボランティアを信頼できると回答。
約9割の保護者が、アスイクの面談担当者は信頼できると回答。
- ⑩精神状態の改善
約6割の参加者が、教室に参加したことで悩みや問題が軽くなったと回答。
76%の保護者が、面談によって悩みや問題が軽くなったと回答。
- ⑪生活習慣の改善
44%の参加者が、教室に参加したことで登校日数が増えたと回答。
47%の参加者が、教室に参加したことで規則正しい生活ができるようになったと回答。

◆当事業への意見や考え方

以下、アンケートからの内容をまとめた。

[子ども]

参加した子どもからは、「教室は、自分にとって守られている場所だと感じる」、「勉強で分からなかったところが分かるようになり、本当にうれしい」といった意見がみられる。

[保護者]

保護者からは、「子どもの勉強に対する悩みや不安が解消された」、「子どもが自発的に勉強に取り組むようになった」といった意見がみられる。

[受託者]

市との定期的な情報共有を通して、現状の問題点や改善策などについて、市の担当課と受託者が協力して対処できているという点で、効果的な事業実施ができていると考えている。

[ボランティア]

ボランティアからは、「喜びややりがいを感じる」といった意見がみられる。

[自治体]

参加者の出席率や継続率が高く、学習の場だけでなく、生徒たちの居場所としての機能が高いと考えている。また、生徒たちの学力も向上しており、事業の効果が現れていると認識している。

◆現状の課題

児童相談所や学校などと連携をとり、様々な問題に対処できる体制を構築していくことが今後の課題である。

◆今後の目標

平成27年度には、市内全区への事業拡大を目指す。

また、教室の安定的な運営や相談支援機能の充実のため、事業実施体制の強化を予定している。

◆参加者募集チラシ

仙台市委託事業（青葉区）

放課後 学習サポート 参加者募集！

参加費は、無料。

インターネット教材で、
楽しみながら学習。

担当サポーターが
一人ひとりを丁寧にサポート。

学校の勉強になかなかついていけない、やる気がおきない、
希望校にいきたくないけど、いまの成績だとちょっと厳しい。
そんなお悩みに、お応えします。
参加費はかかりませんので、安心してご参加ください。

学習サポートの概要

内容：インターネットの教材を使って、学校の補習やテスト勉強をサポートします（国・数・英）。
また、個別に宿題のサポートもします（理科や社会も可）。
単に勉強をするだけでなく、大学生や社会人と将来のことについて話したり、社会体験をするようなイベントに参加することもできます。

対象：中学生
下記の条件に該当する方のみ、ご参加いただけます。

※ 生活保護を受けている方、又は児童扶養手当の支給地区が「全部支給」世帯の方。
場所：裏面の「募集中の教室一覧」から、お近くの教室をお選びいただけます。
日時：教室によって異なります。裏面の「募集中の教室一覧」から、ご確認ください。
参加費：無料

参加者の声

♪なんでも気軽に相談できるサポーターさんがいるし、勉強だけじゃなくて学校のことも相談できるので、毎日行くのが楽しみです。（中学生）

♪学校の授業についていけなくなりましたが、家ででも一緒に勉強できるのがいいし、塾に行かなくてもいいので、本当に助かっています。（母親）

参加までの流れ

問合せ ● 裏面の「問合せお申込先」へご連絡ください

体験会 ● 体験会にご参加いただけます。
※体験・見学は、親子で参加をお願いします。

申込書 ● 申込書を提出していただけます。



出典：NPO法人アスイク

アスイク
学習サポーター日記



この作品はフィクションです。実在の人物とは関係ありません。

出典：NPO法人アスイク

◆ボランティア募集（チラシ）

学習サポート ボランティア 大募集！



アスイクの
学習サポーターの
めがけです

私は
何となく
ボランティアが
アスイクの
サポーターに
なりました

みんなの
アスイク日記は
裏面を見て下さい

「子どもの心に寄り添う」「認める」「ロールモデルになる」、それがアスイクのサポーターの役目です。

POINT 1 **経済的に余裕のない子どもを支える。**
日本でも約6人に1人の子どもが、経済的な困難を
抱えて生活している。子どもが安心して生活するに
「まなび」と「つながり」を生み出す活動です。

POINT 2 **子どもの心に寄り添う学習サポート**
子どもの宿題をサポートしたり、話し相手になっ
たりしながら、子どもが自信を持てるように働き
かけ、一緒に将来のことを考えていきます。

活動の概要

対象：
経済的な困難を抱え、放課後の教育機会や人のつながりが限られている子どもたちに、学習の進捗をサポートすることで、基礎学力や自信への磨き・自信を身に付けてもらう活動です。宿題のサポートをしたり、話し相手になったりすることで、様々な悩みを聞いて一緒に子どもの将来のことを考えていきます。

日時：平日 18:00～21:00（うち曜日1回2時間程度）
場所：仙台市全域のいすけかの会館（近いやすい場所を個別に調整いたします）
交通：活動参加への運賃はありませんが、交通費は実費支給します。

こんな方をお待ちしています！

- 子どもの話を聞いたり、ほめることが好きな方（高校生以上）。
- できるだけ長期期間活動できる方（最低3ヶ月以上）。

※勉強を教えることに自信がなくても大丈夫です。





サポーター一同にコーチングなどの研修を実施しています。活動を通して、あなた自身のスキルアップもできます。

宿題のサポートをしたり、話し相手になったりすることで、子どもの自信を持って取り組まさせていただきます。

学習サポーターの交流会を通じて、活動中もつながりを持っています。

加者の声

♪ボランティアって、何か特別な人がやるものだと思ってたけど、若い層を募集している人々、ちょっと助けるのと同じ。当たり前で普通のことだと思いました。

♪自分自身が子どもからたくさん学ぶことができて、ここできれいに出会える人とのつながりは、私にとってとても貴重だと感じるようになりました。

問合せ/お申込先

NPO法人アスイク（ボランティア担当）
Tel： 022-781-5576
Mail： info@asuiku.org
※電話が繋がらないときは、メールでご連絡ください。

NPO法人
アスイク アスイクは、子どもの笑顔が嬉しい会です